

1 指導概要

教科		科目		
国語		国語表現	単位数：4単位	
指導目標：国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				
メディア視聴	事情に応じて許可（東京書籍） ①視聴講座を100%視聴 ②確認テストクリア	60%	教科書	東京書籍「国語表現」
スクーリング	1 単位時間×4回	合格時間数 4時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全12回	合格枚数 12枚	副教材	なし
試験	あり	試験評価割合 70%	評定	100点法5段階評定
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	分かりやすく説明しよう～情報の伝達～ ポイント①・②	第1回 (5/15)	第1回	【分かりやすく説明しよう～情報の伝達～ポイント①】 ※「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。
2	分かりやすく説明しよう～情報の伝達～ ポイント③・④	第2回 (5/30)		
3	身体で表現しよう	第3回 (6/15)		
4	「問い」を考えよう～インタビュー～ステ ップ①・②	第4回 (6/30)		
5	「問い」を考えよう～インタビュー～ステ ップ③・④	第5回 (7/15)	第2回	【「自分」を表現しよう～インタビュー～ステイ③・④】 ※面接のマナーを確認する。 ※面接のマナーや注意点について説明を聞く。 ※模擬面接のやり方を確認する。
6	「自分」を表現しよう～面接・自己PR～	第6回 (7/30)		
7	論理的な文章を書こう ～テーマ型 小論文～	第7回 (9/15)	第3回	論理的な文章を書こう 小論文 ※小論文にはさまざまなタイプ（出題形式）があること、試験では時間配分と制限字数に注意することを確認する。 ※テーマ型、課題文型、データ分析型、
8	論理的な文章を書こう	第8回		

	～課題文型 小論文～	(9/30)		自己PR型, それぞれの特徴を理解する。
9	話し合う力を身につけよう ～ファシリテーション～	第9回 (10/15)	第4回	情報活用力を身につけよう～広報資料 ※広報資料を企画・制作する流れや, 制作のポイントを確認する。 ※広報誌, ホームページなど, 広報資料の種類について確認する。 ※広報資料の制作では相手意識, 目的意識が大切であることを確認する。
10	情報活用力を身につけよう～広報資料～	第10回 (10/30)		
11	説得力のある提案をしよう ～プレゼンテーション～	第11回 (11/15)		
12	表現を楽しもう～創作～	第12回 (11/30) 提出期限 (11/30) ※提出予備日 (1/30)		

2 評価の観点

知識・技能	テストの結果で評価します。
思考・判断・表現	レポートの最終問題で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	スクーリング時に取り組む姿勢や、成果物で判断します。 ※メディア視聴の成果もこの観点で評価します。

3 評価の方法

<p>上記の観点に基づき、年度末に5段階で評定を出します。</p> <p>【知識・技能】テスト結果(7割)</p> <p>【思考・判断・表現】レポート最終問題(2割)</p> <p>【主体的な態度】スクーリングの時の成果物(1割)</p>

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席(取り組む姿勢)、レポートの提出(レポートの内容)、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは教科担任に聞くのもいいでしょう。アルバイトの面接などに役立つかもしれない科目です。